



生物の働きを生み出す タンパク質のかたち

予稿集

日時：平成11年12月11日(土)・12日(日)

場所：神戸国際会議場

主催 第14回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会
後援 文部省／学術情報センター／日本学術振興会／放送大学／(社)経済団体連合会
(社)応用物理学会／(社)高分子学会／日本遺伝学会／(社)日本化学会
日本結晶学会／日本細胞生物学会／(社)日本生化学会／(社)日本生物工学会
日本生物物理学会／日本蛋白質工学会／(社)日本農芸化学会／(社)日本物理学会
(社)日本分光学会／日本分子生物学会／日本免疫学会／(社)日本薬学会
日本熱測定学会／(財)バイオインダストリー協会

プログラム

1日目●平成11年12月11日(土)

- A. 挨拶 (10:00~10:10)**
・第14回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会
・文部省
秋田県立大学学長 **鈴木 昭憲**
文部省学術国際局学術情報課課長 **太田 慎一**
- B. 基調講演 (10:10~11:00)**
1. 生物機能の担い手:タンパク質
・質疑応答
司会 福井工業大学工学部教授 **京極 好正**
京都大学大学院理学研究科教授 **郷 信広**
- C. アミノ酸配列から立体構造へ (11:00~15:10)**
1. 立体構造の比較・分類から構築原理を探る
2. 構造ゲノム学と立体構造予測
3. タンパク質の構造はひとりでに形成される:フォールディング
4. ミスフォールディングが引き起こす病気:プリオン病
・質疑応答
司会 学習院大学生命分子科学研究所教授 **三浦謹一郎**
京都大学大学院理学研究科助教授 **木寺 詔紀**
国立遺伝学研究所教授 **西川 建**
東京大学大学院理学系研究科助教授 **桑島 邦博**
東北大学医学部教授 **北本 哲之**
- D. 進化してきたタンパク質 (15:30~17:00)**
1. タンパク質はどのように進化してきたか
2. 実験室で創り出すタンパク質進化
・質疑応答
司会 国立遺伝学研究所教授 **五條堀 孝**
名古屋大学大学院理学研究科教授 **郷 通子**
大阪大学大学院工学研究科助教授・さきがけ21 **四方 哲也**

2日目●平成11年12月12日(日)

- E. ダイナミクスから機能へ (10:00~14:10)**
1. 立体構造ダイナミクスを測定する
2. ダイナミクスが機能をもたらす
3. 分子認識の仕組みから薬物設計へ
4. 免疫系の分子認識
・質疑応答
司会 奈良先端科学技術大学院大学教授 **櫛田 孝司**
分子科学研究所教授 **北川 禎三**
奈良先端科学技術大学院大学教授 **片岡 幹雄**
大阪大学蛋白質研究所教授 **中村 春木**
京都大学大学院理学研究科助教授 **宇高 恵子**
- F. 制御された安定性 (14:30~16:45)**
1. 安定化の仕組み
2. 高度好熱菌から学ぶ
3. タンパク質工学への展開
・質疑応答
司会 九州大学大学院薬学研究科教授 **井本 泰治**
大阪大学蛋白質研究所助教授 **油谷 克英**
東京薬科大学生命科学部教授 **大島 泰郎**
(株)キリンビール基盤技術研究所主任研究員 **黒木 良太**